

## ○ 鈴鹿（南部）春山ハイキング

岡本（単独）

杉花粉が少し減ったところで今シーズンの山行の開始だ。昨年来の膝痛もあり、のんびり鈴鹿山脈南部をハイキングした。ヒルで有名な地域であり、晩秋から春までが登山シーズンと言える。

まずはミーハー的に昭文社の地図から治田峠以南で標高 1,000m以上の山を探す。北から静ヶ岳（1088.6m）、竜ヶ岳（1099.6m）、釈迦ヶ岳（1092.9m）、御在所岳（1212m）、鎌ヶ岳（1161m）、水沢岳（1029.7m）、雨乞岳（1238.0m）、綿向山（1110m）、と八峰もある。他にも銚子岳、猫岳、国見岳など 1000m を越す山が結構ある。後は天候と膝と相談しながらの山行だ。今回、今日までの山行は以下の通り。

4/11 御在所岳～鎌ヶ岳（登：御在所岳中道コース、降：鎌ヶ岳長石尾根）

4/13 釈迦ヶ岳～ハト峰（登：庵座の大滝コース、降：朝明溪谷コース）

4/17 雨乞岳（武平峠からのピストン）

4/19 静ヶ岳～竜ヶ岳（登：遠足尾根コース、降：中道・宇賀溪コース）

いずれもマイカー登山であるため、コースが限られるが、残雪もあり、中腹までは所々花も楽しみ、適当なガレ場もあり、沢も綺麗だ。晴れた日には琵琶湖・伊勢湾も望め、眺望も楽しめる。いずれのコースも、休日で無いためか、登山客も少なく快適な山行を楽しむことが出来た。

コースの整備状況は、一部土砂崩れ等で歩きづらい箇所もあるが、道標やテープ等はよく整備されており、踏み跡としっかり周囲を見渡すと、まず道を外すことも無いと思われる。時間が許せば、4月中のもう一度くらい行って見るつもりだ。



左：御在所岳中道コース

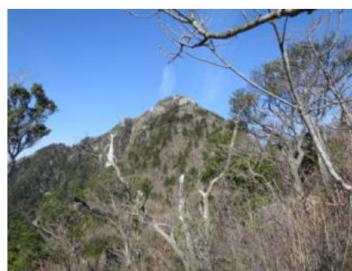
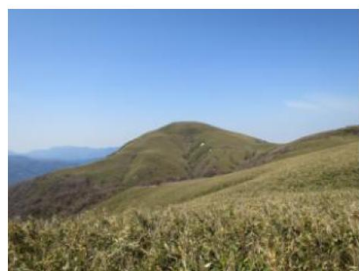
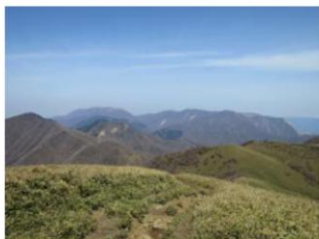
中：釈迦ヶ岳最後の登り

右：宇賀溪五階の滝

左：竜ヶ岳から、左より静ヶ岳、御池岳、藤原岳

中：東雨乞岳より雨乞岳

右：釈迦ヶ岳



左：竜ヶ岳

中：残雪の尾根

右：鎌ヶ岳